

二〇〇四年一月二十五日
発行



第88卷 第1号 史学・地理学・考古学

特集 歴史学の現在 2005

- 特集「歴史学の現在 2005」に寄せて……………紀平英作（1）
発展段階論と中世後期社会経済史研究……………早島大祐（3）
中国における「慰安婦」研究の現在……………高嶋航（27）
中世ヨーロッパにおける紛争と秩序……………服部良久（56）
——紛争解決と国家・社会——
現代アメリカと「帝国」論……………小野沢透（90）
歴史と場所……………米家泰作（126）
——過去認識の歴史地理学——

二〇〇四年度史学研究会大会講演要旨

二〇〇四年度史学研究会総会の記録

史学研究会

京都大学文学部内

度を設けること（次欄参照）、③来年度から広報担当常務理事・委員を設置することの三点が提案され、承認された。このほかホームページ改修や会員名簿作成にむけての取り組みについても報告があった。

編集（上原真人常務理事）からは、『史林』の刊行状況、および特集号「歴史学の現在（二〇〇五）（本号）」の編集状況について報告があった。

会計（田中和子常務理事）からは、二〇〇四年度決算報告、および二〇〇五年度予算案が提案され、承認された。このほか予算・決算の書式改善や会費滞納者の取り扱

いについても報告があった。
総会・公開講演ののち、鎌田元一理事が閉会の辞を述べ、大会は終了した。

学生会員の会費割引制度について

史学研究会では、二〇〇五年度（二〇〇五年四月～〇六年三月）より、学生会員の会費割引制度を設けることにしました。

○学生会員とは、次の①②のいずれかに該当する会員を指します。

①学部学生・大学院生

②研修員・研究生・聴講生・科目等履修生など①に準ずる身分の者（非常勤講師・研究員等の職を有する者を除く）

○学生会員は、一般六九〇〇円の会費を、三九〇〇円に割引します。

すでに会員であつて二〇〇五年度から学生会員扱いを望まれる方は、年度初めにお送りする会費振込用紙を用いて、所定の届け出をしてください。また、学生会員として新たに入会することを希望される方は、入会届を御請求ください。

この制度によって、多数の院生・学生のみなさんに御入会いただき、史学研究会の活動が発展することを願うものです。

受贈誌

（二〇〇四年七月六日）
二〇〇四年十一月一日）

アジア研究所報（亜細亜大学アジア研究所）一一五

史迹と美術（史迹と美術同致会）七四六～七四八

福島大学教育学部論集 社会科学部門（福島大学教育学部）七二～七三

Historia Mexicana (El Colegio De Mexico) 二二三

人文地理（人文地理学会）五六～五七
日本史研究（日本史研究会）五〇三～五〇五

五
日本歴史（日本歴史学会）六七五～六七七
古代文化（古代学協会）五六～五七

一橋論叢（一橋大学一橋学会）一三三～一三四

国立歴史民俗博物館研究報告（国立歴史民俗博物館）一一二

史学雑誌（史学会）一一三～一六九
歴史学報（歴史学会）一八三

歴史（東北史学会）一〇三

信濃（信濃史学会）五六～五七

- 史学研究(広島史学研究会) 二四五―二四六
- 六
- 韓國民族文化(釜山大学校韓國民族文化研究所) 二四
- 福岡大学研究部論集A・人文科学編(福岡大学研究推進部) 四一―二一五
- 茨城大学文学部紀要 人文科学論集(茨城大学文学部) 四一
- 茨城大学文学部紀要 社会科学論集(茨城大学文学部) 四〇
- 東洋史研究(東洋史研究会) 六三一―七一二
- 立命館法政論集(立命館大学法学会) 三
- 岐阜経済大学論集(岐阜経済大学学会) 七一二
- 東北大学文学研究科年報(東北大学大学院文学研究科) 五三
- 地域研究(国立民族学博物館・地域研究会画交流センター) 六一―
- 海南史学(高知海南史学会) 四二
- 湘南史学(東海大学大学院日本史学友会) 一五
- 哲学研究(京都哲学会) 五七七
- 経済論集(ソウル大学校経済研究所) 四二―四、四三一―二
- 東洋学報(東洋文庫) 八五―四、八六一―
- 経済研究(一橋大学経済研究所) 五五―三
- 鴨台史学(大正大学史学会) 四
- 立命館文学(立命館大学文学会) 五八五
- 経済論叢(京都大学経済学会) 一七二―五
- 一六、一七三―一三
- 社会経済史学(社会経済史学会) 七〇―一
- アジア研究所紀要(亜細亜大学アジア研究所) 三〇
- 東方学会報(東方学会) 八六
- 文書館だより(栃木県立文書館) 三六
- 福岡大学人文論叢(福岡大学研究推進部) 三六一―
- 国立台湾法學論叢(国立台湾大学法律學出版) 三三一―二
- 史泉(関西大学史学・地理学会) 一〇〇
- 同朋大学仏教文化研究所紀要(同朋大学仏教文化研究所) 三三
- 鹿児島経済論集(鹿児島国際大学経済学部学会) 四四―三
- 日本学刊 Japanese Studies (中華日本学会、中国社会科学院日本研究所) 二〇〇
- 四・三―五
- 国家学会雑誌(国家学会事務所) 一一七―五―一〇
- 九州国際大学法學論集(九州国際大学法学会) 一〇―一
- 経済科学(名古屋大学大学院経済学研究科) 五二―一
- 岩手史学研究(岩手史学会) 八七
- 文化(東北大学文学会) 六七、三・四
- 法政史論(法政大学大学院日本史学会) 三一
- 飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(奈良文化財研究所) 一七
- 奈良文化財研究所紀要(奈良文化財研究所) 二〇〇四
- 立命館法学(立命館大学法学会) 二九三―二九四
- 日本民俗学(日本民俗学会) 二三八―二四〇
- 史料(皇學館大学史料編纂所) 一九一
- 史学(三田史学会) 七三―一
- 人類学雑誌 ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (JAPANESE SERIES) (日本学会事務所) 一一二―一三
- 中国史研究(中国史学会) 三〇―三二
- 大美和(大神神社社務所) 一〇七
- 一橋研究(一橋研究編集委員会) 二九―一
- 奈良学研究(帝塚山大学奈良学学会) 七
- 日本文化史研究(帝塚山大学日本文化史学

(五) 三六

海軍史研究 (日本海軍史学会) 六一

駿台史学 (駿台史学会) 一二二

はこだて市史編さん室だより (はこだて市史編さん室) 三

Anthropological Science (Anthropological Society of Nippon) 一一一一

愛知大学文学論叢 (愛知大学文学会) 一三〇

神道宗教 (神道宗教学会) 一九三―一九四

CAA Arbitration Journal (Arbitration Association of the R.O.C. (CAA)) 一一

立命館大学国際平和ミュージアムだより (立命館大学国際平和ミュージアム) 一一一

学術研究―地理学・歴史学・社会科学編 (早稲田大学教育学部) 二〇〇四―二〇〇五

書状研究 (書状研究会) 一七

美術研 (東京国立文化財研究所) 三八三

長崎大学教育学部社会科学論叢 (長崎大学教育学部) 六五

日本音楽史研究 (上野学園日本音楽資料室) 五

史観 (早稲田大学史学会) 一五一

岡山市立オリエント美術館研究紀要 (岡山

市立オリエント美術館) 一七

新潟産業大学人文学部紀要 (新潟産業大学東アジア経済文化研究所) 一六

アジアフォーラム (大阪経済法科大学) 二八

中央研究院歴史語言研究所集刊 (中央研究院歴史語言研究所) 七五―三

立命館史学 (立命館史学) 二五

史料ネット *News Letter* (歴史資料ネットワーク) 三八―三九

考古学報 (中国社会科学考古学研究所) 一五三―一五四

同朋大学仏教文化研究所報 (同朋大学仏教文化研究所)

経済論究 (九州大学大学院経済学会) 一八

三康文化研究所報 (三康文化研究所) 三九

神戸大学史学年報 (神戸大学史学研究会) 一九

社会経済史学 (社会経済史学会) 七〇―二

クロノス CHRONOS (京都橘女子大学女性歴史文化研究所) 二二

編集後記

史林初の特集号をお届けします。研究史との緊張感に満ちた対話、そして新たな地平を切り拓く視点の提示。その多様な現場に、史林ならではのスタイルで迫ったものです。「歴史学の現在」の息づかいを、専攻を超えて感じて頂ければと思います。(T)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.han-kyoto-u.ac.jp/~haagai/SHR/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会平成一六年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)が交付されております。

二〇〇四年二月五日印刷 定価二二〇〇円
二〇〇五年一月一日発行

史林 第八八巻第一号(通巻第四四九号)

京都市左京区吉田本町京都大学文学部内

電話 〇七五 七五二 二七八七
FAX 〇七五 七五二 二七八七

発行人 史学研究会

振替京都 〇〇七〇二 一五五番
理事長 紀平英作

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上島羽薬田一丁目

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXVIII No. 1

January 2005

Special Issue

HISTORICAL RESEARCH TODAY, 2005

- KIHIRA Eisaku, Foreword (1)
- HAYASHIMA Daisuke, The Monotonous Development Model
and the Social Economical Studies on the Japanese History
in the Late Medieval Age (3)
- TAKASHIMA Kou, Studies on “Comfort Women” by Chinese Scholars (27)
- HATTORI Yoshihisa, Conflict and Order in Medieval Europe :
Settlement, State and Society (56)
- ONozAWA Toru, Should U.S. Global Power Be Described
as an “Empire”? (90)
- KOMEIE Taisaku, History and Place : Historical Geographies of the Past (126)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369